



なかま

めぐろくくりつひがしねしょうがっこう
日本語国際学級通信
令和7年10月15日第404号
校長 高鍋 恭子

こうき 後期のスタートです！

10月15日(水)から、日本語国際学級の後期の指導が始まりました。

前期の終わりに行なった個人面談では、前期にがんばったことやこれから勉強していくことなどについてお話ししました。日本語国際学級の指導期間は、原則2年間となっており、学校生活での基本的な日本語のやり取りや、学級での学習に必要な日本語を身に付けられるように指導しています。

今回の面談では、帰国予定や進路などをもとに、残りの半年間で「何を中心としていくのか」をお話ししました。後期も一人ひとりの目標に合わせた指導を行っていきます。

また、後期には、日本語国際学級の行事、「作品展」や「ほほえみタイム」(交流学習)を予定しています。詳しいことが決まりましたら、後日お知らせします。



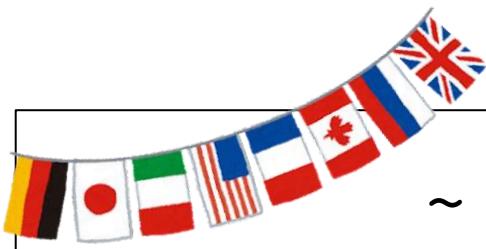
こうよう 紅葉の季節…



朝や夜、涼しい日が多くなってきました。日本には「春」「夏」「秋」「冬」と「四季」があります。これから季節は秋になります。秋になると葉が緑から紅色や黄色に変わっていきます。このことを日本語で「紅葉」と言います。紅葉を楽しむための行事として「紅葉狩り」があります。

運動会や学芸会など様々な行事を秋に行なう学校も多くあります。それぞれの学校で運動会や学芸会の練習などで日本語国際学級への通級をお休みする必要があるときは、事前にご連絡ください。お願ひいたします。

また、学芸会の台本を読むことが難しい場合など、日本語国際学級で支援できることがあれば、ご相談ください。学校行事が子どもたちにとって、日本語を学ぶよい機会となり、よい思い出にできるようにしていきたいと思います。



～ 作品展 について ～

日本語国際学級の作品展では、通ってきている子どもたちが同じテーマで作文を書き、東根小学校の校内に掲示します。

今年度のテーマは、「〇〇〇（の国）のいいところ、ステキなところ」です。自分や自分の家族が生まれた国や育った国、もしくは日本のこと、自分の体験などをもとに作文を書きます。自分が生まれた国でも長く外国に住んでいる子どもは、その国のことによく知らないことがあります。そういう子には、この機会に自分にかかわりのある国について調べてほしいと思っています。もちろん日本のことでもよいです。調べる時には、ご家庭でそれぞれの国について子どもからインタビューされることもあるかもしれません。そのときには、ご協力をお願いします。日本語国際学級では、後期から作文の内容を子どもたちと考え始める予定です。どうぞよろしくお願ひします。

